

自然科学部



自然科学部では、校内にあるため池「宮浦池」周辺の生物を中心に、観察・調査を行っています。

宮浦池は100年以上前からあるため池で、さまざまな生物が生息しています。ナマズなどの魚が泳ぎ、水面にはヒシが浮きます。アオサギなど、大型の鳥類が住み着いており、傍らにある雑木林では、トビが営巣しています。冬にはたくさんのカモ類も、飛来します。時には美しいカワセミが魚を捕らえる姿を見たり、コゲラが周囲の雑木林で木の幹をつつく音を聞くこともできます。

夜になると、タヌキやキツネが出没します。雑木林では、樹液の出るコナラには、夏になるとクワガタムシやカブトムシも集まってきます。

一方で、池にはいわゆるブラックバスやミシシッピアカミミガメなどの外来種も生息しています。こうした外来種の問題も、身近な池で考え

ています。

また校内ばかりではなく、時には伊吹山や乗鞍岳など、高い山にも登って、身近な自然と比較することで、その違いを学んでいます。



伊吹山にて



乗鞍岳にて

毎年、学校の置かれた恵まれた環境の中で調査研究した内容を、各大会で発表し、e-kamon 環境フェアなどのイベントで紹介しています。



e-kamonまるごと環境フェア



高校生サイエンスフェスティバルで野鳥観察を案内

今後も地道に地域の自然を探究する活動を行っていきたいと考えています。また環境問題についての理解を深める活動も行っていきます。

自然に興味を持ち、探究心にあふれ、山に登る体力のある新入部員を待望しています。



野鳥のポスター展示